
そっとキュッと

コカタ トモヤマ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

そつとキュツと

【Nコード】

N6052Q

【作者名】

コカタ トモヤマ

【あらすじ】

ヘタリアで子希と土っさんの話。

繋がれたその先から伝わる温もりに、相手の手をなんとなくぎゅっと強く握り返してしまった。

「なんだ？」

言葉に出さずにそう問い返してくる仮面の下に見えたそのオリ―ブ色をした瞳に見つめられた俺は「なんでもない、死ねトルコ」と言つて、握っていたその手を乱暴に振りほどき、早足と駆け足の中間の速度でどんどんやつを突き放して先に歩いて行く。

「おい、迷子になつてもしんねえぞ」

後ろから笑いながら声を投げてくる。

なるか、バカトルコ。ここは母さんの土地だ。おれは小さい時からずっと知っている場所だ。どこに何があるのか全部知っている。

なんて意味もない苛立ちを抱かえ、歩いてても歩いてもそれでも後ろからまだ聞こえてくる笑い声にイライラしながら、瓦礫の間をずんずん歩いていくと突如視界が開けた。切り立った崖っぷちに出ってしまった。

目の前の崖の下に見えるのは真っ青な広い海原だった。

どこまでも続く海原の先に微かに遠く水平線が見える。

ただどその水平線も海と同じように真っ青な空があるために、どこまでが空でどこからが海なのかその区切りが解らなかった。

その吸い込まれるような青い色に目を奪われ崖っぷちから身を乗り出すようにして眺めていると襟首をひよいとつかみ取られてしまった。

「あんま身を乗り出してつと落っこちまうぞ、ギリシャ」

「……………落ちるか、バカトルコ」

「あぁっ!？」

ぎろりと見上げた彼の布で隠された口元が、けつと口を歪ませている。

「つんとに、可愛くねえガキだぜい、ったく」

そう文句を言いながら、猫ようにつかみ取っていたおれの襟首から手を放すとふわりと体を抱き上げられて、彼の肩の上に乗せられていた。

急に目線が高くなったことにより思わず怖くなって、キュツと彼の民族衣装である大きな人の頭の倍ほどあるターバンにしがみついていた。

その時、しがみついたおれの体を、彼の大きな手が落とさないようにそつと支えてくれていた。

■ そつと、きゅつと。(子希と土)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6052q/>

そっとキュッと

2011年10月6日03時27分発行